

---

# イツァ・カオス・オブ・ワールド

HYPER・BARZAM

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

イツツア・カオス・オブ・ワールド

### 【Nコード】

N1780W

### 【作者名】

HYP ER・BARZAM

### 【あらすじ】

いろいろカオスです。まあみてくださいな

くクイズの巻く

キュベレイ「さて！このモバイルスーツは何でしょう！！」

マイクを持ったキュベレイの後ろにはドムの画像が映されていた

ダブルゼータ「分かったぜ！！ザクだ！！」

キュベレイ「ブッブー！正解はドムでしたー♪」

ダブルゼータ「くっそー。そっちかー☆いやいや、間違えてしまつてドムも（どうも）すいませーん♪なんつって」

キュベレイ「次言ったらマジぶっ殺すからな？（黒怒）」

キュベレイは鬼のような形相でダブルゼータに詰め寄る

ダブルゼータ「す…すいません…（滝汗）」

くゲームの巻く

サトシ「ガロード！！スーパーポケモンスクランブルやろーぜ！！」

サトシは3DSを持ってガロードに言う

ガロード「お、いいぜ!!」

そう言ってガロードは自分の3DSを開く。だが画面には予想外な事態に……

データの読み込みに失敗しました。

ガロード「は？」

ガロードはもう一回電源を付けた

セーブデータが破損しています。新しいセーブデータを作り直しますか？

はい↑      いいえ

ガロード「NOOOOOO!!!!!!」

セーブデータの管理は大切に!!      by デント

おまけ

サトシ「あれ？なんで強いポケモンばかりいるんだ？データを消さ  
れたんじゃない……」

ガロード「昨日1日で全クリした。」

サトシ「バケモンか……お前は……」

ゲームは1日一時間な！！ byダブルゼータ

く白と黒の巻く

トウヤ「あ！自販機発見！！」

トウコ「良かったく♪こう暑い日には炭酸がいいのよねく♪」

ゼクロム「なあ、主、俺達も喉が渴いたんだが……」

レシラム「何か買っていないか？」

トウコ「あ、いいよく」

トウヤ「白と黒だから……牛乳やコーヒー？」

ゼクロム&レシラム「「いや」」



ガブリアス「レベル1のコラッタ百体を相手するのとレベル100のミュウツー一体を相手するのとどっちがいい？」

ニドキング「クソオオオオオ!!行つてやるー!!」

ガブリアス「行つてらっしゃーい」

こうゆうときはハイマツトフルバーストを使えばいいよ b y キラ

「名前が…… の巻」

シン（ガンダム）「……………」。

アスカ（エヴァ）「……………」。

ラングレー（ポケモン）「……………」。

アスカ（ウルトラマンダイナ）「……………」

アスカ（エヴァ）「萎えるわね……………」

シン（ガンダム）「ああ……………」

ラングレー（ポケモン）「ええ……………」

アスカ（ウルトラマンダイナ）「おう……………」

「ガンダあああああム！！」の巻

刹那「が…ガンダム……」

刹那&デント&月「「ガンダあああああム！！！！」」

三人は指パッチンをする

刹那「俺こそガンダムだ！！」

デント「僕こそガンダム！！」

月「ふざけるなあああ！！僕こそガンダムだあああああ！！！！」

シン「やかましいわ！」

みんなみんな生きているんだ。ガンダムなんだ by エクシア

「僕が一番上手く…」の巻

アムロ「僕が一番上手くガンダムを扱えるんだ！！」

アーティ「何言っているんだ！！僕は一番上手く虫ポケモンを上手く扱えるんだ！！」



リボンス「僕は一番上手くりボーンズガンダムを扱える……」

マリオ「僕が一番ファイアフラワーを扱えるんだ……」

フィンファンネルは伊達じゃあない！！ byハイニュー

＼ド外道 の巻＼

ゼクロム「見るなら黒き英雄だ……」

レシラム「いや、白き英雄だ」

ビクティニ「まあまあ落ち着いて……」

ゼクロム「落ち着けるものか」

レシラム「ああ」

ビクティニ「みんなボクの可愛さに負けたんだからどっちでもよくね？」

ゼクロム&レシラム「「ま……まさに外道……」」

早く映画出演したいよー byキュレム。

くバリツシュ！ の巻く

キュレム「ヒュラララー！（きりっ）」

レシラム「もえるーわー……（啞然）」

ゼクロム「ばりばりだぁー……（啞然）」

ぐぎゅぐばぁ！！ぱるぱるう！！ byディアルガとパールキア

く赤さんの一言 の巻く

赤さん「赤ちゃんではなく、赤さんと呼べ！！」

まさに外道

赤さん「雷が鳴ってキャーキャー言ってる女子に言う。お前らの方がうるせーよwww」

まさに外道

僕と契約して魔法少女になってよ！！ いやだねwww淫獣ww  
ww byキュウベえと赤さん

くドロー！！ の巻く

闇遊戯「ドロー!! モンスターカード!!」

ザコ「ぐばあ!!」

闇遊戯「ドロー!! モンスターカード!!」

ザコ「ぶべらっ!!」

闇遊戯「ドロー!! モンスターカード!!」

ザコ「ぎゃあ!!」

闇遊戯「ドロー!! モンスターカード」

ベル「やめたげてよお!!」

いや、むしろやれ b y 視聴者

く衝撃な…… の巻く

オプティマス「最後に言い残すことは？」

デモリッシャー「ここだけの話、実はラチェットって医師免許を所持していない……!!」

デモリッシャーは頭を撃ち抜かれた。そしてオプティマスの後ろには銃を構えたラチェットの姿が……

ラチェット「好きにさせん」

く重量　の巻く

ワリオ「なんでマリカWiiのロゼッタは重量級なんだ？」

ヨッシー「チコが乗っているからですよ」

ワリオ「なんだよ……」

ヨッシー「へ？ワリオさんはなんだと思っていたんですか？」

ワリオ「俺様はてっきりロゼッタの体重のせいだ」

ロゼッタ「死ね」

ワリオはカートに乗ったロゼッタにはねられてしまった

デブのお前が言うことか　byロゼッタ

く教えてゼクロムさん　の巻く

バチュル「ゼクロムさんは一応伝説なんですよ？」

ゼクロム「そうだが…」

バチュル「教えて教えて〜♪どうゆうところが伝説なの〜？」

ゼクロム「俺の特性、テラボルテージはどんな特性の能力を無視する事が出来る。」

バチュル「それってつまり……………かたやぶりと同じじゃん」

ゼクロム「……………」

「教えてゼクロムさん その2」

バチュル「技とかどーなの？技とか」

ゼクロム「俺の専用技、クロスサンダーは電気タイプの中で最強クラスを持っている。それにレシラムのクロスフレイムの後に出すと威力がアップする」

バチュル「それってつまり……………クロスフレイムが無きゃあただの電気技じゃん」

ゼクロム「……………」

解せぬ byゼクロム

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1780w/>

---

イツァ・カオス・オブ・ワールド

2011年10月9日14時52分発行